

# 社会資本整備審議会 道路分科会

## 平成 28 年度 第 1 回 中部地方小委員会

### 議事概要

1. 日 時 平成 29 年 3 月 27 日（月） 10:30～12:00

2. 場 所 中部地方整備局 3 階 共用大会議室

3. 出席者

[委員]

- |   |                    |                          |
|---|--------------------|--------------------------|
| ○ | うちだ としひろ<br>内田 俊宏  | 中京大学経済学部 教授              |
|   | くらうち ふみたか<br>倉内 文孝 | 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授        |
|   | くりはら だいすけ<br>栗原 大介 | (一社)中部経済連合会 常務           |
|   | さとう くみ<br>佐藤 久美    | 金城学院大学国際情報学部国際情報学科 教授    |
|   | たかぎ あきよし<br>高木 朗義  | 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授        |
| ◎ | なかむら ひでき<br>中村 英樹  | 名古屋大学大学院環境学研究科 教授        |
|   | みずお えり<br>水尾 衣里    | 名城大学人間学部人間学研究科 教授        |
|   | やまだ えり<br>山田 恵里    | 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師 |
- ※敬称略、五十音順 ◎は委員長 ○は副委員長

4. 議 事

(1) 計画段階評価について

(2) 伊豆縦貫自動車道（天城湯ヶ島～河津）第 2 回 計画段階評価

<委員からの主な意見>

- ・ヒアリングやアンケートを実施する際に、この地域の現状や、当該道路の整備前後の状況について、分かりやすい形で表現できるように工夫した方が良いのではないか。
- ・地域の現状については、この地域の産業や地形的特徴等を表現できないか。
- ・整備前後の状況については、各ルート案の所要時間の短縮効果や構造的な特徴を表現した方がよい。
- ・特に現道活用区間においては、整備後の沿道状況等がイメージとして伝わる事が重要。